

この発明は、フィルタサイズを大きくし、フィルタリング処理の自由度を多くしたものであり、周波数領域でより細かな帯域毎に強調したり減衰させるようなフィルタの設計が可能である。

また、ROMに記憶させておくフィルタ係数セットは、フィルタサイズを4分割したうちの1つ分の大きさで構成する。つまり、大きいフィルタサイズの係数を記憶する方法として、フィルタを4象限に分割してみたときに、その1つの象限に属する各係数には、隣り合う他の象限を折り返したときに一致するような対称性を持たせることで、実際にメモリ上に記憶させておくデータ量は上記1象限分（4分割できない場合には、4当分して余った部分も）にすることで、記憶容量の削減をする。